

---

令和2年 第99回(定例)新温泉町議会会議録(第3日)

令和2年3月5日(木曜日)

---

議事日程(第3号)

令和2年3月5日 午前9時開議

- 日程第1 一般質問
- 日程第2 議案第19号 令和元年度新温泉町一般会計補正予算(第6号)について
- 日程第3 議案第20号 令和元年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について
- 日程第4 議案第21号 令和元年度新温泉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
- 日程第5 議案第22号 令和元年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計補正予算(第4号)について
- 日程第6 議案第23号 令和元年度新温泉町水道事業会計補正予算(第4号)について
- 日程第7 議案第24号 令和元年度新温泉町下水道事業会計補正予算(第3号)について
- 日程第8 議案第25号 令和元年度新温泉町公立浜坂病院事業会計補正予算(第4号)について
- 

本日の会議に付した事件

- 日程第1 一般質問
- (1) 5番 浜田 直子君
- (2) 14番 谷口 功君
- (3) 7番 太田 昭宏君
- 

出席議員(16名)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1番 池田 宜広君  | 2番 平澤 剛太君  |
| 3番 河越 忠志君  | 4番 重本 静男君  |
| 5番 浜田 直子君  | 6番 森田 善幸君  |
| 7番 太田 昭宏君  | 8番 竹内 敬一郎君 |
| 9番 阪本 晴良君  | 10番 岩本 修作君 |
| 11番 中村 茂君  | 12番 宮本 泰男君 |
| 13番 中井 次郎君 | 14番 谷口 功君  |
| 15番 小林 俊之君 | 16番 中井 勝君  |
-

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 ..... 仲 村 祐 子君 書記 ..... 東 康次郎君

説明のため出席した者の職氏名

町長 ..... 西 村 銀 三君 副町長 ..... 田 中 孝 幸君  
教育長 ..... 西 村 松 代君 温泉総合支所長 ..... 太 田 信 明君  
牧場公園園長 ..... 藤 本 喜 龍君 総務課長 ..... 井 上 弘 君  
企画課長 ..... 岩 垣 廣 一君 税務課長 ..... 長谷阪 仁 志君  
町民安全課長 ..... 西 村 徹 君 健康福祉課長 ..... 中 田 剛 志君  
商工観光課長 ..... 水 田 賢 治君 農林水産課長 ..... 松 岡 清 和君  
建設課長 ..... 山 本 輝 之君 上下水道課長 ..... 北 村 誠 君  
町参事 ..... 土 江 克 彦君 浜坂病院事務長 ..... 吉 野 松 樹君  
介護老人保健施設ささゆり事務長 宇 野 喜代美君 会計管理者 ..... 仲 村 秀 幸君  
こども教育課長 ..... 長谷阪 治 君 生涯教育課長 ..... 川 夏 晴 夫君  
調整担当 ..... 谷 渕 朝 子君 代表監査委員 ..... 川 崎 雅 洋君

午前 9 時 0 0 分開議

○議長（中井 勝君） 皆さん、おはようございます。

第 9 9 回新温泉町議会定例会 3 日目の会議を開催するに当たり、議員各位には御多用のところ御参集を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本日は、2 日目に引き続き、一般質問を中心に議事を進めてまいりたいと存じます。

議員各位におかれましては、格別の御精励を賜り、議事の円滑な運営に御協力をいただきますようよろしくお願いをいたします。

町長挨拶。

西村町長。

○町長（西村 銀三君） おはようございます。

定例会第 3 日目の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日は、昨日に引き続きまして 3 名の方より一般質問をいただいております。いずれも行政運営に係る重要な案件であり、誠意を持って答弁させていただきます。

また、休憩中には補正予算の説明をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（中井 勝君） ただいまの出席議員は 1 6 名で定足数に達しておりますので、

第99回新温泉町議会定例会3日目の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

---

日程第1 一般質問

○議長（中井 勝君） 日程第1、一般質問を行います。

2日目に引き続き、受け付け順に質問を許可します。

初めに、5番、浜田直子君の質問を許可します。

5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） おはようございます。5番、浜田直子です。議長より許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

今までの質問と重なっていることも多く、順番を変えさせていただきます。先に新型コロナウイルス感染症対策について、そして女性の就労対策・子育て支援の充実を図るには、以命亭・図書館等の文化エリアの充実について、浜坂・大庭認定こども園の早期整備についてと順序を変更させていただきます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、連日質問が出ておりますので、私からは少しとさせていただきます。今回、身体につきましても大変不安の大きいところでございます。皆様の健康を願うばかりです。そして、それに加えて経済的にも大変深刻とも言えるような事態となっています。日々状態が変わり、この先いつまで続くのかわからないため、不安と心配はふえるばかりではないでしょうか。

そうした中、経済的な対策は今後、何かお考えでしょうか。町長のお考えをお伺いいたします。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 現在、国からも経済対策はこの10日に出される予定ということ聞いております。そういったものを出された上で、県並びに町、改めて検討を予定いたしております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 可能な限りの支援を期待いたしますと同時に、当町の迅速な対応に感謝するとともに、引き続きの対応を期待し、早い収束を願っています。できましたら、不足している高齢者の方たちの予防用品の支給等を考えていただける可能性はありますでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 副町長よりお答えをさせていただきます。

○議長（中井 勝君） 田中副町長。

○副町長（田中 孝幸君） 町民の方には、やはり手洗い、うがい、せきエチケットなどの周知を行わせていただいて、感染防止にお努めいただきたいということもございます。マスク等の不足につきましては、近隣市町で配布されているということもございま

すけれども、もともとのストックのボリュームが全然違いますのと、町内では6,000枚余りの医療用のマスク、これは医療現場でやはり迅速な対応、持続的な対応が必要ということで、まずそういったところに活用させていただきたい。そして、今月中にはマスクについても、中国からの輸入ということもかなり、月6億枚というふうな想定で輸入拡大ということも言われてますので、我がほうではまだ近隣で発生してるわけでもないんで、その状況に応じて必要な対策については講じてまいりたいと考えております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 次に、女性の就労対策・子育て支援の充実を図るにはについて伺いたします。

先日、浜坂高等学校の卒業式が行われました。それぞれの夢と希望を胸に羽ばたく姿に感動いたしました。卒業された多くの生徒さんは、それぞれの進路に向かって都市部で過ごされるようです。そして、自己実現のために新温泉町を選び、帰ってきて活躍してくださる方が男性、女性もふえてほしいと願い、新温泉町が選ばれる、人口のふえる町となるよう努力していただきたいと思います。そのような就労対策の充実に向けてのお考えはいかがでしょうか。町長のお考えをお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 就労対策といいますか、基本的には、人口がふえる、雇用がふえる、そういった職場を構築することが非常に重要だと思っております。一方で、浜坂道路のⅡ期工事が始まって鳥取との距離が非常に近くなると。高速道路ができると、ストロー現象といって人口が過疎が進む、そういうところが一般的であります。そうならないような町の魅力をつくり出していくということが大きな課題だと思っております。

この就労対策、なかなか職場、事業所も、合併から、例えば商工会の加盟しとる事業所の数も650が約200ぐらい減って、大幅に減少しているという、そういう状況もあります。いかに働く場の確保をふやしていくか、そういったところをいろんな施策を打ってやっていきたいと思っております。町の空洞化も、商店街の空き店舗もどんどんふえております。そういったところを改めて町の再生に向けてといいますか、力を入れていきたいと思っております。この令和2年度は駅前を中心に、駅前から浜坂北小学校までの道路の拡幅工事も始まります。それにあわせて、駅前のあり方、このチャンス逃がさず、町の活性化につなげるような駅前のあり方などをやっていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） そのように期待しております。もうぜひふやしていただきたいです。

また、女性の就労意識が高まるような、女性も生き生きと能力を発揮できる、活躍できる場の提供等、そういったような対策もお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 女性の働く場所、これは女性のみならず男性もだと思っんですけど、特に女性の働く場というのは、子育て環境、子供たちがふえるということで、特に今回問題になっております保育園のあり方であるとか、やっぱりそういったところを女性の就労の場としても非常に大事なところだと思っております。大庭認定こども園も残す、浜坂認定こども園も充実するということで、働く場の確保を、特に子育て世代の人たちが働けるような、そういったこども園などの充実をやっていきたい、そのように思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） そのようにお願いします。

女性の中には子育ても働くことも両立したいと思っている方もいます。そのようなチャレンジも応援できる町となっていきたいです。ぜひとも女性にも選ばれる優しい町、新温泉町を目指していただきたいです。そして、出会い、結婚、子育て支援の充実も大変重要なことだと思います。出会いの場をふやす工夫は進みましたでしょうか、お尋ねいたします。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 出会いの場、結婚する一つの大きなチャンスになると思います。そういった意味では、今後の人口増にもつながる、そういった施策を打っていききたいと思っております。特に麒麟のまち連携中枢都市ということで、鳥取市との連携、それから、鳥取東部の町との連携も深まっております。婚活事業を中心にやっていききたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 麒麟以外でも広げていただきたいんですけど、そちらのほうはどうでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 但馬県民局レベルでも婚活事業を推進しておりますので、そちらのほうも手を抜くことなく頑張っていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） それに関連しまして、結婚を支援してくださる、9月議会で提案いたしました内閣府の結婚新生活支援事業、新居の購入、家賃、引っ越し費用等、30万円までの補助事業を提案させていただいたんですけど、その後どうなりましたでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 令和2年度の事業の中で、新婚家庭に対する家賃補助など、そういったところを予算で計上しております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

- 議員（5番 浜田 直子君） また、当町では妊娠前から手厚い制度も多くあり、子育て支援センターも設置され、以前と比べて子育て面でも過ごしやすくなり、医療費の補助も高校生までとなる予定です。とてもありがたい、子育てには手厚い町となっています。また、新年度には子育て世代包括支援センター設置も行われるようで、ますますの充実が見込まれます。このメリットをうまく多くの方に伝わるよう期待いたします。その対策はとられてますでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） 今年度、子育て環境の充実ということで、高校生までの医療費の無料化であるとか、それから通学費用の半額補助、こういったことで、ほかにも数々の、例えば保育園の昼食代を無料にするとか、いろんな手を打って子育て環境の充実を図っております。
- 議長（中井 勝君） 町長、保育園、全員じゃないんでしょう、一部でしょう。
- 町長（西村 銀三君） はい。
- 議長（中井 勝君） 今の発言は全員のように聞こえますよ。
- 町長（西村 銀三君） はい。所得制限といいますか、ありますが、3歳から5歳までの昼食費の4,300円を無償化するというのを令和2年度予定をいたしております。
- 議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。
- 議員（5番 浜田 直子君） そのように、お母さんたちが子育てが楽しい町というイメージアップにつながるような情報の発信方法というか、それを伝える、こんなすばらしい対策というか子育て支援をしてくださってるんですが、それが受け取られる方たち、また、町外の方たち、皆さんにこの情報が共有されてないというイメージがあります。情報はお母さんたちは結構、この町外っていうか、今、インターネットが発達してますので、探していただくプラスの、こんなに本当に充実した子育て支援をされている町っていうのはそう多くないと思いますので、逆に上手に情報発信さえすれば見つけていただける、こんないい町あるんですよというPRを積極的にしていただきたいという思いで先ほどお尋ねしました。そういったようなPRの考えはございますでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） 従前でしたら、紙媒体といいますか、冊子にしたりして配布するというのが多かったんですけど、最近のお母さん、若いお母さんたちは全部スマホでびっぴびとやっています。スマホを利用した情報提供、制度は変わっても、スマホの場合はすぐチェンジが、情報の交換、変更ができます。そういったことで、スマホを中心に情報提供を素早くやっていきたいと思っております。
- 議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。
- 議員（5番 浜田 直子君） 素早くということですが、いつごろがめどでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） あくまでも、制度が変わったらすぐということをやりたいと思

っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） それでは、自由に遊べる公園の整備も待ち望まれています。町長は、公園デビューというお言葉を御存じでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） いいえ、知りません。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 私たちが子育てをしている何十年前かからございます。公園でたくさんの親子が遊んでいる中に初めてというか、子供がちょっと外に出るようになったときに、親も子も初めてというか、初めて社会に出会うきっかけの一つが地域の公園であったという、そういったような言葉なんですけど、雅子様も、愛子様を連れて公園デビューを当時されておられます。

ですが、町長が御存じないというのも無理はないと思います。といいますのも、私もですけど、この町で公園デビューっていうのは大変難しいというか、公園もほとんどないですし、公園で遊んでおられる子供さんっていうのもほとんど見かけませんし、そんな毎日たくさん子供がにぎやかに遊んでいるという公園っていうのは、当時の私の行動範囲も少なかったし情報もなかったので、こういったような公園デビューっていうのはできなくて、ちょっとこもったというか、親子だけの親子カプセルになりがちな、ちょっとどうしていいかわからないっていうような子育てを何年か経験しました。

ですので、この町で公園がもしあれば、お母さんも子供も社会参加のきっかけになります。公園で得られる体験も多かったと思います。また、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、兄弟など、誰とでも自由な時間に自由な遊び方、それもマイペースで過ごせることができるので、公園っていうのは本当に欲しいなと思いました。同じようなお子さんと一緒に遊んでも遊べなくても、子供たちの様子を見ているだけでも、自分の子供以外の子供さんを見ると楽しくなりますし、いろんな気づきもありました。笑顔を見て声を聞くだけでも和みます。

うちの子供が小さいとき、なぜか忙しい夕方になるとよく泣き出していました。どうしていいのかと悩んだり、冷静さを欠いてしまうこともしばしばありました。そんなときに気晴らしでちょっと公園にでも出れたらなっていうのを本当に当時はよく思っていました。集落によってはあるところもありますが、当時、私にはちょっとわからなかったです。御近所さんに頼るぐらいしかできませんでした。御近所さんに本当に助けられたなと思います。

ですから、やはり公園っていう、わからない、知らない人たちが出会って、また交流が始まるっていうのもすごくいい経験じゃないかなと思いました。今でも町内の親子さんたち、お母さんたちは、遊具を求めて近隣の市や町に出向いていることも多いと伺っています。できれば、当町にも大きくて楽しい、人のたくさん集まる遊具のある、近隣

の町からでも遊びに来てくれるような公園を期待します。これは町長の地域懇談会でも多くあった御意見だったと思います。町長のお気持ちをお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 新温泉町には実は公園はたくさんあります。旧警察跡のポケットパーク、それから白馬公園、旧温泉町では健康公園、さらには牧場公園、また、旭町であるとか、そういった小さい公園もあります。議員はないと言われたんですけど、たくさんありますので、ぜひそこを利用して楽しんでいただきたいと思います。ただ、遊具が少ないというのは事実だと思います。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） そのような冒険心が当時あればよかったんですが、残念ながらちょっと控え目だったせいか余り行けなくて、というか、行っても誰も遊んでいないことがほとんどでしたので、ちょっと寂しい公園には余り、知らないところに行きにくいというのが当時の印象でした。

もちろん、新温泉町は山陰ジオパークですので、大変自然に恵まれております。サンビーチ、牧場公園、町長言っておられた健康公園など、本当に自然を満喫できるというか、そういったように楽しく遊ぶこともできます。ですが、やはり遊具のしっかりある、いつも大抵誰かがいるというような安全で楽しい公園という、楽しい場所がふえるのはとてもうれしくありがたいことだと思います。

次に、出産祝いについてお伺いいたします。現在はプラスチック製の食器セットが新温泉町からのプレゼントとしていただけるようですが、食器ですと持ち合わせていることも多く、もう少し喜んでいただけるものがないのでしょうか。当初の予定の町長の公約でありましたお祝い金、もしくは、これはあれですけど、フィンランド政府は、妊婦さんにフィニッシュベビーボックスというものを贈っています。これは生後4カ月ぐらまでベッドとして使える、マットの敷かれた段ボール箱の中に子育て用品が、フィンランドでは50品目ほど入っています。この段ボールベッドで乳幼児死亡率がその国ではとても下がり、世界でも1番くらい低くなっています。日本も低いですが、このように乳幼児の安全を考慮した軽くて運びやすく、使用期間が終われば処分もしやすい、このようなセットはどうでしょうか、提案しますので御検討していただきたいです。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） フィンランドは国が提供しとる、うちは町であります。フィンランド並みには難しいかなと思います。本来は国が、政府がやらないけん仕事、特に将来人口が減るということで、国を挙げて、やはり人口をいかにふやしていくかということ政府が考えてほしいなど。地方自治体のレベルではなかなか人口をふやすというのは大変難しい、そういう背景があると思います。

ただ、今の段ボールベッドですか、どういったものかはちょっとようわからんですけど、参考意見としてお聞きをいたしておきます。



○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） また現物が手に入りましたら、ぜひ見ていただきたいと思います。

入学祝いにつきましても、入学に必要なもの、例えば算数セット、楽器など、学校指定の品物の支援を御提案いたします。御検討していただきたいです。通学支援も地元の学校のみならず町外へも対象を広げていただければ、進学地へ家族で引っ越されなくても通学でき、逆に、地域によっては、町外への通勤手当があるということで移住者がふえている市や町もあるとお聞きしております。そういったメリットとして、通学支援も考えていただきたいと提案させていただきます。町長のお考えをお伺いいたします。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 鳥取の高校に進学する方は今年度もかなりいるということ聞いております。まず、地元、浜坂高校に進学をしていただく、そういう政策を打ってきたいと。そういった状況を見ながら、当町から例えば豊岡の高校に通うとか、そういった方の支援策もできないか検討をしてみたいです。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 同感というか、浜坂高校をまず、本当に大切にしてください、大切にしてくださいと思っていますので、これからも引き続き地元の高校の支援を期待します。

次に、以命亭・図書館等の文化エリアの充実についてお伺いいたします。

加藤文太郎記念図書館は、新温泉町の誇る独自の財産の一つです。幸福度、満足度を上げるには文化の充実も大切な要因だと思います。この町に住んでよかったと思っただけか、一人一人の価値観は違い、さまざまではありますので、ほかにもいろいろあるとは思いますが、町長の思いをお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 日本全国には図書館、本でまちづくり、こういったところもどんどんふえているようであります。そういった意味では、兵庫県内でも、山陰地方でも、加藤文太郎図書館はすばらしい蔵書が10万冊以上あるということで、特に登山に特化した、そういうコーナーもあるわけです。こういったすばらしいこの図書館を充実と、価値を、子供たちの知識や学習レベルの向上にもつなげたいと思います。もっともっと活用できるように推進を図っていきたい。そういった一環で、ことし浜坂駅構内に図書コーナー、加藤文太郎図書館のミニ分室のような感じで、加藤文太郎図書館のPR、それから利用、そういった、加藤文太郎の図書館をもっともっと生かしていきたいというふうな、そういう視点で予定をいたしております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） おっしゃるとおり、25周年を迎える加藤文太郎記念図書館は、職員の努力もあり、町民に広く愛され利用されています。今でも図書館には少

なくとも毎日150人ぐらいは訪れているようです。平成31年3月末で、先ほども町長おっしゃっておられたとおり、10万2,258冊の蔵書があります。その中で、絵本、児童書は3万3,901冊で3割強を占めています。おかげで町内の多くの学校、園でそれぞれボランティアの読み聞かせ等も行われ、子供たちの読書環境も充実しています。また、図書館ではさまざまな企画も催されています。中でも山岳資料は突出していると思いますが、その分、郷土資料は少ないようです。郷土資料は以命亭でそろっていますので、両方のよさを合わせて広げていただきたいと思いますと思いますが、町長はいかがお考えでしょうか。できたら、1つで資料館的なものにしていただけるとありがたいかなと思うんですけど、どうでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 資料館ということですけど、以命亭もあります。そういった、あそこの味原川沿いというのが文化・歴史ゾーンの一画という位置づけで考えておりますので、ぜひ、以命亭に行けば図書館にも寄る、図書館に行けば以命亭にも寄る、そういった位置づけで考えてほしいと思います。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） そのように提案させていただいたつもりというか、郷土のものは以命亭、山のものは加藤文太郎記念図書館ということで、連携を深めるというか、1つというか両方合わさったような、相互を補い、両方のよさを広げるような設置体制というか、施設の体制にさせていただけたらなと思います。

そして、おっしゃるとおりですけど、味原川を中心に自然と歴史を感じ、以命亭本町の町並み、加藤文太郎図書館、そしてユートピア浜坂もあり、自然も文化もゆったりと感じられるエリアでもあります。その上、諸寄など、町内各地で住民パワーも感じられます。そういったようなそれらをつなぎ、点から線へ、そして面へとしての一体感を持った新温泉町を表現し、ネットワークをつくり発信できるのは加藤文太郎図書館と以命亭と思います。そういったような核に両方がなっていただきたいんですけど、町長はどのようにお感じでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 今、既に以命亭、図書館とのつながりは十分深まっていると思っております。そういった歴史・文化を楽しむ中で、ユートピアで一服、こういう方も多いと思います。現在、既にすばらしい地域だと思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） ますますそのように発展させていただけたらと思います。

お天気を気にせずにご過せる図書館は、お母さん、保護者、子供たちにとって楽しい時間を過ごせる場所ではないでしょうか。図書館と遊具のある公園が近くにあると、保護者としてはとてもありがたいことです。ぜひ図書館の近くに公園設置を望みますが、町長のお考えをお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 昨年夏の住民懇談会でも、お母さん方から、かなり大規模な遊具が欲しい、そういう意見をたくさんいただいております。浜坂でもいただきました、温泉地区でもいただいております。今後、予算っていいですか、お金の関係が大変ポイントになると思いますけど、検討をしていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 子供たちの笑顔、お母さんたちの笑顔のためにぜひ頑張ってくださいたいです。早くの設置を望みます。浜坂道路の整備も進み、交通事情もよくなれば、ほかの市町からもそういったところへ来ていただけるのではないのでしょうか。公園が近くにあれば、相乗効果も期待できそうです。ぜひそうなるよう期待しています。次に、浜坂・大庭認定こども園の早期整備についてお伺いいたします。

現在、大きな国の方向性としてコミュニティ・スクールが上げられています。よりよい社会をつくるために、全ては子供たちのために、そういう思いを伝えながら地域で子供を育てる、学校、こども園を核とした、地域づくりをできる方が無理のない範囲で得意なことをする。子供が学校だけでなく地域の方々とかかわりを持つことで、ふるさと愛も生まれ、地域の方たちもかかわった分、喜びも大きく広がります。

そうしたこれからの地域の核となるかもしれない浜坂・大庭認定こども園整備は、現在、危険建物となっていますので、一刻も早い整備が求められています。候補地をめぐって、議会では反対が多く進まない状況です。私は、町民の皆様の思いを伝えたいという思いから、この場に立たせていただいております。

平成31年2月に大庭認定こども園に対する町長、議長宛ての、早期整備についての、通園地区全区長、保護者会長ほか役員からの要望書が出ております。令和元年9月と11月、そして令和2年2月に、浜坂認定こども園に対する町長、教育長、議長宛ての、早期整備についての要望書が合わせて約3,300人分提出されています。また、保護者アンケートの結果も現地案6割となっています。この多くの要望書、アンケートは、町民の皆様の声であり、民意でもあるのではないのでしょうか。強い願いがこもっていると感じます。

浜坂認定こども園の早期整備について、署名は、浜坂地区のみならず大庭地区、西浜地区、温泉地区、町外の方からも寄せられています。町外の方は、新温泉町出身であったり、新温泉町に勤めておられたりと、新温泉町のつながりのある方たちです。今回のことだけではなく、多くの方々の思いが届く町であってほしいと常々思っています。町行政と住民、今回は、住民から選ばれた検討委員会の方々と議会とが尊重し合い、連携がうまくいくようにと一番に願っています。

ですので、浜坂認定こども園の早期整備について、第2期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会の全員一致の現地案の答申から、浜坂認定こども園建てかえ候補地選定に係る検討結果報告書の提案を尊重すべきと考えますが、町長はいかがお考えでしょ

うか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 町民の思いを行政が実施するというのが本来の姿であると思います。一方で、議会の承認を得る、議会の方々にも御理解をしていただく、そういうことを努力する中で、場所決定、浜坂認定こども園の建築推進を図ってまいりたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 早く推進できるように願っております。多くの議員の方々は安全面を気にされています。それはもちろん当然そうだと思います。住民の安全は第一です。検討委員会の方たちも、御自身のお子さんが通うかもしれないという中で、本当に真剣に考えてくださっています。私も経験させていただきましたが、この検討委員会ってというのはとても責任を感じる会です。今回、検討委員になられた方たちも、いろんな方のお話を伺ったり、いろんな思いの中でこの結果を出されたと思います。その結果はとても重いと思います。その結果とはまた別ですが、保護者のアンケートでも6割の方が現在地でおっしゃっています。そのアンケートの前には、議会では一度否決があり、水がつかる、船が上がってきている、そういったようなものを父兄の方たちは見えています。それでもそれを承知で、アンケートでたくさんの方がやはり現在地でおっしゃっています。早く建てかえてほしい。今の建物が危険建物なので急がれています。

今年度、私もひょうご防災リーダー講座を受ける機会に恵まれました。丹波地域で受けさせていただきましたが、兵庫県の講座ですので大変充実しておりました。減災・防災情報はとても貴重でした。候補地も、このように100%の安全の配慮ができる場であればありがたいのですが、そういった場所はこの町内で本当にあるのでしょうか。町内では難しいのではないのでしょうか。あとは、いかに防災・減災、避難等をするための人と人の結びつき、そして、防災教育が大切であると感じています。こども園の子供たちが日ごろから安全を意識した訓練や暮らしを重ねることは、子供たちにとってもみずからの命を守る貴重な経験である同時に、ある種の財産でもあると思いますが、町長のお考えをお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） ここなら安全だということを100%言い切れる場所はないと思います。水に対する安全性、地震に対する安全性、それから不審者に対する安全性、ありとあらゆる安全面って、ただ水だけではないという、そういう観点があると思っております。そういった意味で、本当に子育て環境としてどこがいいのか、やはりそれは現実を見てきっちり判断する必要があると思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） おっしゃるとおりだと思います。

そして、設計等には、以前の説明もありましたが、十分な安全対策がとられる予定と

お伺いしました。そう信じていいのでしょうか、お伺いいたします。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 安全対策って場所によっていろいろ変わってくると思いますので、そういう認識です。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 場所によってですし、現在地とした場合の提案ですけど、現在のこども園の問題点は、園の周りの道路が浸水し、迎えに行けなくなるのではという心配の声もあるように思いました。それだけではないかもしれないですけど、そういった問題もあるように感じています。新しい園舎の造成地は、今よりも1メートルも高くなるように聞いています。それであれば道路の浸水対策と造成地との段差が大きくなりますので、その段差を解消するため、また、浸水の不安を和らげるため、新しい園舎の周りの道のある程度上げ、そして、水路もできれば改良されてはいかがでしょうか。提案いたしますので、検討していただきたいです。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 個別の見直しについては、場所が決まった時点で検討するというぐあいに考えております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） わかりました。

そして、加藤文太郎記念図書館、以命亭など、現在地を活用された場合は、この文化エリア、どことも園に近い場所にできます。そうなると、遊具のある公園、子育てエリアの充実とか、そういうふうに広げていただければと期待しますが、どうでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 場所によっていろんな広がりができると思いますけど、場所が決定次第、そういった次の構想に入っていきたいと思います。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 浜坂認定こども園の早期整備が決まることで、大庭認定こども園も整備に向けた話になるのではと静観されています。今回、このように多くの方々の声をお聞きすることができ、ますます早い整備が求められていると強く感じています。町長の思いもお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 両方早く整備したいという思いでいっぱいではありますが、まずは今取りかかっている浜坂認定こども園を何とか早期にやっていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） 子供は地域の宝です。大切な宝であるからこそ、このよ

うに深い議論が繰り返されているのだと感じています。議員の方々の愛情の深さと感じています。こうした議論を超えてこそ価値も深まるのかもしれませんが。子育て支援、こども園舎に引かれて、移住のふえている町があります。新温泉町もそのようになるよう、これからも行政、町民の皆様、議会がいい関係で前向きなまちづくりが進むことを願っています。お母さん、保護者、子供たちの笑顔があふれ、その人たちの願いがかなう、かわいく楽しい明るい園舎が一日も早くできることを願ってやみません。

今回は、特に第2期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会の委員の皆さんの意見を尊重していただきたいと、何度も集まり協議した答申を最大限に尊重すべきと考えます。前向きなまちづくりが進むことを願っています。町長、教育長の思いもお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 子育て環境を一刻も早く充実を図って、本当に子供たちがふえる。そして、将来の町の人口がふえ、活性化につながる、そういう思いで頑張っています。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 浜坂認定こども園、大庭認定こども園と本当に子供たちの将来を担うというか、その教育、保育は大変重要なことだと思っています。将来に子供たちが希望を持って輝いていけるような認定こども園を建設というか、するために、やはりしっかりと取り組んでいかないといけないと思っておりますし、早く、皆さんの思いは、本当に子供たちの幸せを願わない人はいないと思っています。ですので、その子供たちのために力を結集して、皆さんの思いをしっかりと理解し合える中で、何とか早く取り組んでいきたいなど、それにつながっていったらなと思っております。全ては子供たちのためにということでやっていく、そういう気持ちでいます。

○議長（中井 勝君） 5番、浜田直子君。

○議員（5番 浜田 直子君） お二人の思いが早く届き、町の子供たちの笑顔がふえることを願っております。お母さんたちは朝の1分、5分、10分、とても貴重です。子供たちの近くで働き、楽しい子供たちの様子が気軽に見れる、そのような環境を願っております。お母さんたちが子育てが楽しい、もっと子供がいてもいいかなって思える、そのような新温泉町になるよう、イメージアップを求めて、このこども園が早く整備されることを強く願っております。

以上で質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

○議長（中井 勝君） これで浜田直子君の質問を終わります。

○議長（中井 勝君） 暫時休憩します。10時5分まで。

午前 9時48分休憩

午前10時05分再開

○議長（中井 勝君） 休憩を閉じ、再開します。

次に、14番、谷口功君の質問を許可します。

14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 質問通告に沿って質問をいたします。

最初に、新型コロナウイルスによる新型肺炎が国内でも世界的にも広がり、多くの方が不安を抱きながら暮らしています。2月27日午後6時半ごろのテレビでの安倍首相の、小・中・高校と特別支援学校について、3月2日から春休みに入るまで臨時休校するようにと要請をいたしました。ここから状況が大きく変わって、それぞれの地域、現場では、大変大きな混乱がいまだに広がり続けています。そこで、この新型コロナウイルス感染症の対応について伺いたいと思います。

最初に、新型コロナウイルスとはどのようなものでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） お答えします。今回、大発生しております新型コロナウイルス、主なといいますか、特徴は、呼吸器系感染症と言われております。症状としては、発熱、それから、せきなど呼吸器系の症状が主なものであります。感染源、これは現在調査中ということではありますが、中国・武漢市の市場から多くの患者が発生した、野生動物が原因とも考えられております。潜伏期間は現在不明ですが、最大で2週間程度と考えられております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） どのように感染するのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 感染経路は、患者と濃厚に接触することによる飛沫感染、ウイルスに汚染された環境に触れることによる接触感染が考えられております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） どのような予防策があるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 一般的な衛生対策として、せきエチケット、それから手洗いなどを行います。また、免疫力を高めるための十分な栄養と休養、そして、人混みなどを避けることも有効であります。発熱やせきなどの症状がある人との不必要な接触は避けることでもあります。接触した手は十分な手洗い、20秒以上が大事だと言われております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） せきエチケットとはどういうことを言っているのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

- 町長（西村 銀三君） 他人に空気感染をしないような、唾が飛ばないような、そういう対応であります。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 空気感染とは違うと思うんですが、お答えを承ります。マスクの効果はあるのでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） テレビなどでは、マスクの効果は限定的だということが言われておりますが、そういう、発熱など症状がある方は他人にうつさない、そういう場合は非常に効果があるとも言われております。飛沫の飛散を防ぐ、そういう意味であります。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 私もアレルギー性鼻炎、花粉症でマスクは手放せないんですが、なかなか入手困難になっています。どうすればいいのでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） 当町にも数千枚、マスクの在庫があります。一般の商店ではなかなか入手できないという状況があります。国からも北海道など特定のエリアに無料配布をいたしておるといふ現状があるんですけど、緊急に備えた町の在庫があるということで、一般の町民に対して、どのようにマスクを入手するかというのは非常に現状では困難な面があると考えております。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 見通しはないのでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） 国の方針では、3月ぐらいから順次配布ができるのではないかと、約6億枚の供給を目指しているということ聞いております。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 感染が疑われる場合にはどうすればいいのでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） 町のホームページでも掲載しておりますが、風邪の症状、そして、37.5度以上の熱が4日以上続いている、強いだるさや、そして、息苦しさがある高齢者や基礎疾患がある方、そして、熱、だるさ等が2日程度続いている方々は、直接医療機関へ出向くのではなく、豊岡健康福祉事務所、もしくは兵庫県の疾病対策課へ電話相談していただきます。そこで医療機関への受診を勧められます。それから、医療機関では直接建物内に入らず、駐車場等で待機し、医療機関からの指示を受けるといったことになっております。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 最も近くの感染症指定病院とはどこにあるのでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。



- 町長（西村 銀三君） 豊岡病院であります。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 検査はどこで受けられるのでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） 豊岡病院で受けることによって、そこで指示があると思います。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 治療方法はあるのでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） 治療方法、現在、有効なウイルス薬等の治療方法はないということを知っています。対症療法を行っておるとというのが現状です。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 御承知だと思いますけど、私が今お尋ねしたものの答えは全部、町長が言われました、ネットで厚生労働省のホームページを開けば、一問一答形式で、こういう単純な質問に対する答えが整理をされています。しかし、3日、4日と議論がありましたように、なかなかインターネットでそういう情報を得られるという方はまだまだこの町内では少ないと思います。ですから、やっぱり町の対策を検討されていると思うんですが、より正確な情報を速やかに届けるということが極めて重要ではないか。それがトレットペーパーだとか紙製品がなくなるというようなことを防止することにもなるし、感染症の広がりを防ぐことにもつながるのではないかと。何よりもそのことを速やかに実践をしていただきたいと思います。いかがですか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） きのう、一般質問の中でも町民に対するスピード感ある対応策、そういったものをチラシなどで配布してはどうか、そういう御意見をいただいております。現在準備をいたしております。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） もう一つ重要なことをお尋ねしたいと思います。浜坂病院やささゆりへの対応というのはどういうことを考えられているのでしょうか。
- 議長（中井 勝君） 西村町長。
- 町長（西村 銀三君） 浜坂病院の対応についてお答えをいたします。まず、厚生労働省が示している新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安及び医療体制についてのQ&Aに基づいて、それぞれの症状に対応する院内体制の整備を図っております。そういう状況であります。
- 議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。
- 議員（14番 谷口 功君） 例えば熱がある一般的な風邪だと思い込んでいる患者が、新型コロナウイルスの症状だとは自覚せずに浜坂病院に入ってしまった場合、どういう対応ができるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 現場の状況、病院の事務長なり参事に答えさせます。

○議長（中井 勝君） 吉野病院事務長。

○浜坂病院事務長（吉野 松樹君） 基本的には、先ほど議論されましたように、疑いのある場合は相談センターのほうに誘導するんですけども、そういった自覚がない方が現実問題として浜坂病院においでになることがあります。これまで現実的には3件ございました。そのときの対応としては、一般患者との接触を、動線区分するために別の部屋ということでその方を特別に診察をさせていただいて、その方については問題なしということがあったんですけども、そういった形で動線区分ということをさせていただいております。

それから、今後もそういったことが予想されますので、とりあえず、まず第一には電話連絡をしていただいてから浜坂病院へという、院内掲示もさせていただいておりますし、ホームページ等でもそういったアナウンスはさせていただいております。そういった方が連絡があったり気がついたら、一般患者と完全に区別するために、今現在、別の場所ということで完全に遮断された場所の準備を進めているところであります。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 私は、やはり、ささゆりにしても浜坂病院の入院患者にしても、高齢者の人が非常に多いわけです。この新型コロナウイルスの症状というのは、高齢者が重篤になるというふうに言われております。したがって、浜坂病院なりささゆりに、何としてもそういう感染が疑われる方が入らないようにすると、未然に防ぐ対策が必要だと考えます。しかし、それを浜坂病院やささゆりに求めても、今でも人材が不足していて、そんな対応、特別な対応はできないということになるかと思うんです。ですから、私は、退職をされている看護師であるとか保健師であるとか、そういう方を臨時的に採用して、浜坂病院に入る前に、あるいはささゆりに入る前に、事前に面接をして相談をして、そういう疑われる患者さんが病院内に入らない、ささゆりの中に入らない対策をとるべきだと考えますが、いかがですか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 院長なりと相談しながら考えていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 速やかに対応してもらいたいと思っております。

次に、学校が休校になって本当に現場での御苦労が想像できます。しかし一方で、子供たちが本当に家庭の中で、通常の学習がきちんと進んだり、あるいは本当にストレスをためずに、健康を維持することができるかどうかと、さまざまな心配をされていると思いますが、学校現場ではどういう対応をされているのかお聞かせをいただきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 学校現場が本当に混乱してると思いますか、そういった状況がありまして、子供たちの安全、安心という健康をまず一番に考えて、今回2週間の休校をしたわけですけれども、学習面のことにつきましては、きのうもお話しさせていただいたんですけれども、まず学力保障ということで、プリントで家庭学習ができるようなものを子供たちに持ち帰らせる。学校によっては、家庭訪問をして、またプリントを配ってる、直接接しないような形での配布をしてる学校もありますし、そういった形での学力保障、それから、もちろん家庭の中に入ってずっといるということは本当にストレスがたまることだと思います。そういったことで、心配されることはたくさんあるんですけれども、今なかなか外に出てということができない状況が、いろいろ制限をしているところがありますので、そういったことは本当に心配しております。

16日に明けて、子供たちが登校して来たときに、やっぱり心のケアといいますか、しっかりと見守るといえるか、そういった体制もしっかりとっていかないといけないと思っておりますし、その休校の間には、担任のほうから連絡を随時とるように、そういった指示もしております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 例えばひとり親家庭、あるいは共働きの家庭というようなことが把握されているでしょうか。そして、学童保育に希望する方がふえているのでしょうか、現状はどうなっているのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） そういった方への対応というか、本当に皆さんが困られないようにこども園のほうは開所しております。それから、学童、放課後児童クラブのほうですけれども、人数がふえるだろうということを予想しまして、スクールアシスタントとか補助員をそこに配置をして対応をしています。

きのうの時点では、そんなに予想してたほどの人数がきのうは集まらなかったというか、希望がなかったということですが、とにかく分散をして対応をしていくということで教室も3つを活用して、はまさか北児童クラブのほうではしております。

済みません。温泉のほうは、1カ所で分かれて、ちょっと離しての開所をしているという状況です。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） この庁舎内で、感染症対策連絡会が2月21日に設置をされ、そして28日には感染症警戒本部になり、そして3月2日に感染症対策本部が設置をされています。ここではそれぞれ名称が変わっていくわけですが、その対応内容も変化をしていったんでしょうか、どういう対応をされたのでしょうか。説明をいただきたいと思います。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） それぞれの課における対応策を提案していただいております。

細かく言いますと、2月21日の連絡会議では、24年に新型インフルエンザ等対策特別措置法というものが設置されておるんですけど、そういった措置法を基本にした、参考にした対応策を、連絡会議を2月21日開催いたしております。相談窓口の周知、それから相談があった場合の対応、ホームページの掲載、それから、コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安、それと新型インフルエンザ等対策行動計画、こういったものを論議をいたしております。

それから2月28日の警戒本部においては、総理からイベントの自粛要請があったということで、こういった小学校、中学校、高校への休校の要請、それから大阪で陰性反応の患者が陽性になったというふうなことの報告、それから各課でのイベント中止等の対応協議、そして教育長から各小・中、それから児童クラブへの対応策の説明。

さらに3月2日の対策本部においては、兵庫県西宮で患者が見つかったという報告を受けて、県でも3月1日対策本部が設置された。こういったことの中で、各管理職に警戒態勢の要請、さらには感染地域の不要不急の出張等のあり方、自粛をすること、そして住民への啓発を徹底するためQ&Aの作成、そしてさらに国が検討している補正予算への対応、例えば給食事業者など、それから民間事業者への対応、それから公務員休職等に関する影響、それから職員の休暇に対する対応策。こういったものを検討いたしたところであります。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 新型インフルエンザ等対策特別措置法は、平成24年設置されているんですね。それに基づいて平成27年3月に新温泉町の新型インフルエンザ等対策行動計画がつくられていると。具体的に規定をされているわけですが、今町長が読み上げられたような内容が、私たちには全く伝わってきません。例えば感染症対策本部に格上げをしたと、設置されたという文書も議会事務局長が、課長会でこういうことがありましたということを議員に親切で連絡をしてくれたということにすぎないんですよね。一体何をどうしたのかということは、私たちにも、もちろん住民の皆さんにも全く、一体町がどんな対応をしているのか、ホームページも開いても本当に形式的に豊岡健康福祉事務所に連絡をしてください、県に連絡をしてくださいという程度のことしか書かれていないじゃないですか。一体どんな会議をしているのだろうかとは疑問を持ったためにこの質問をしています。ぜひ本当にそういう会議をされているなら、それなりの対応策を前面に出していただきたいということを申し上げて、この項については終わりたいと思います。

次に、消費税増税後の経済動向が、我が町の状況がどうなっているのかということについて伺いたいと思います。

昨年10月から12月期の国内総生産が年率換算で6.3%の大幅減少をいたしております。12月議会でも私はこのことを指摘をして、影響をきちんと把握してもらいたいということを申し上げております。そしてこのコロナウイルス感染症による経済への

大きな影響も、世界的規模で株価が暴落をするというところまで影響が広がっています。こういう中で、何よりも重大な影響を受けるのが中小零細業者ではないかと考えます。この点についてどのように把握されているのか伺いたいと思います。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 消費税増税以降大変売り上げ減に陥っているところが、たくさんあるということはお聞きいたしております。その影響について具体的な調査は現在行っておりませんが、商工会からの所得の申告状況などを受けておる中で、状況を確認していきたいと考えております。

それから、これはコロナウイルスの発生後であります、町内事業者回ってみました。非常に消費税以上にコロナの影響が及んでいると、悪い影響が及んでいるということは、回ってみる中でたくさん、まあ湯村温泉でも1,000人ぐらいのキャンセル、大型バスの、新温泉町に入るバスもほとんどゼロになった、キャンセルになった。そういうふうなことで、すごい、すごいというか、もう本当に経営ができないような、そういう心配もなされている事業所もあるということを実感でいたしております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） ぜひ、安倍首相が小・中・高、特別支援学校の休校を決定をして、その対応策、つまり経済対策も含めて、全責任を負うということを言っているわけです。しかし、その影響がどういう状況なのかということ把握しておかなければ、その対応策を受け取ることもできないということになると思うんです。ですから、まだこれまで調査をされていないとおっしゃっていますから、まずは調査をする。そしてそれぞれの事業者の皆さんにも、正確にそのマイナス状況を把握をしていただくという呼びかけが必要ではないかと思いますが、いかがですか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 大変厳しい状況もあると思います。特に当町は観光地ということで外部からの流入によって、経営が成り立っているところもたくさんあると思いますので、早急に現状把握に努めて次の一手が打てるようにしたいと思います。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） そういう厳しい状況のもとで安倍首相が、昨年9月に全世代型社会保障検討会議を立ち上げた。年金の削減、医療・介護の国民負担増と給付の削減、病院統廃合、病床数削減等、文字どおり全世代に痛みを押しつける社会保障の削減をしようとしています。この状況についてどのように受けとめられているのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 最悪の機会に消費税を上げたりという一方で、国民負担、いろんな国保税、それから後期高齢者の負担とか、どんどんふえていると、また年金は減るといって大変厳しい状況があると思います。そういった時期に消費税を上げたということにさらに経済的にも行き詰まる、家計も本当に成り立たない、そういう状況があると思

います。当町は、県下でも非常に所得のレベルが低い、そういうところであります。そういったことでもう少し国が、政府が、本当に地方の現状を見てほしいと思いますし、もっともっと交付税をふやしていただくとか、そういったことを国民一人一人の負担が、もっともっと軽減されないか、そういうことを願っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） ぜひ、町村会を初め全国の自治体の長が声を合わせて、国に対して適切な対応をすることを求めていると思います。

次に、そういうもとの、来年度の国保税は引き下げられるのでしょうか。令和元年の収支見通し、決算見込みはどうなっているのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 国保税、先日も国保会議がありました。実は平成30年度と平成20年度を、国保の収支状況を調べてみたところ、実は、まず人数で平成20年、国保の会員さんが約5,000人でした。平成30年は1,500人減って、3,500名ということで、3割も減っているという現状はあります。

医療費も、平成20年が15億6,000万円、そして国保の加入者の医療費総額が15億6,000万円、それから平成30年度が13億6,000万円、2億円減っております、総額で2億円。もちろん3割、1,500人減ったということで医療費総額は減っております。

一方で、1人当たりの年間の医療費、平成20年は約31万円です、それから平成30年は38万円、7万円アップという、そういう状況があります。

こういう中で、医療費総額では減ってきてはおるんですけど、加入者数も減っていると、こういう流れがあります。

この6月に国保の収支決算が出ますので、そういった最終状況を見て、今回の、できるだけ値下げにつなげるようにしていきたい。そのように思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） たくさん答えていただいたんですが、恐らく収支見通しは、決算見込みは、ことしも大幅な基金の取り崩しをしなくても、ほぼ従前の運営ができていくという状況だと思うんです。ですから、来年度は思い切って国保税の引き下げを、基金を活用して引き下げをされることを求めたいと思いますが、町長の、その予算編成は既にされているわけですから、その見通しについてお聞かせをいただきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） ここ5年連続国保税下がっております。基金も約3億5,000万円ありますので、そういった基金を有効に活用したいと思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） もう一つ国保制度で問題なのが、担税力のない子供に、

いわゆる均等割として課税をされている問題があります。町長の進める子育て支援の精神にも反することではないかと考えますが、この子供に対する均等割を賦課することは、やめるべきだと思いますが、いかがですか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 私も議員と同じ考えであります、制度の中身を再度確認しながら検討をしていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） それからもう一つあわせてお尋ねは、後期高齢者医療保険の75歳以上の保険料の引き上げがなされています。これ連続的にもう数年間引き上げがされていると思うんです。年金収入だけの方が非常に多い75歳以上ですからね。そういうもとで低所得層の均等割の特例軽減も廃止になっています。非常に、町長先ほどお答えいただいたように、年金も引き下げられています。そういうもとで、この大幅な負担増というのは、本当に許されないことだと考えますが、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 議員の思いと同じなんですけど、2月に県の後期高齢者の議会が開催されました。41市町の議員さん、主に市長、町長がメインなんですけど、値上げ案に私は、三木市の議員さんと2人だけが反対ということで、あの席で反対の意思を表示するっていうのは極めて難しいといいますが、そういう議場になっておりまして、勇気が要ったと思っておりますが、あえて我が町の、本当に4割が高齢者、そして所得レベルは県下でも最も低い位置にある、そういった状況から反対をさせていただきました。今後もその思いを貫いていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 町長の勇気ある行動に敬意を表したいと思っておりますし、称賛されるべきことだと思います。ぜひこの問題を改正していくには、本当に世論を引き上げる以外にはないのではないかと思いますから、町長ぜひその先頭に立っていただきたいということを申し上げておきます。

次に、就学援助制度の町のお知らせがホームページに掲載をされています。この掲載内容が極めて私は不適切だと思しまして、実は教育長が活躍された宝塚市のホームページを開いてみました。全く違います。我が町のお知らせには、この就学援助を受けることができる世帯の認定基準は次のいずれかに該当する世帯です。一つ、生活保護法の停止または廃止ということが書かれているんですが、町長、教育長、意味が読み取れますか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 教育長のほうで答えていただきます。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） このたびこのことが質問でありましたので、これをどのよう

な形で出ているのかということを確認いたしました。本当にわかりにくいものだと思います。すぐ感じたことはそのことを感じて、宝塚市にいたときに、どういう案内出していたかなと思い浮かべながら、確認もいたしました。やっぱりもっとわかりやすいものにするべきだなということは感じております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） ぜひ改善していただきたいと思います。

もう一つ重要な問題点があるんです。一番最後のほうに、民生委員の意見書が必要になります。電話または訪問などにより、生活実態の聞き取りを行いますので、あらかじめ御了承くださいと。以前のお知らせには、こんなことは書いてなかったはずなのに、いつこんなことが復活してしまったんだろうという疑問を持っています。この点はどのようにお考えですか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） いつ復活したかということとはちょっと今はわかっていないんですけれども、この内容につきまして本当に1枚のこの紙の中に、やはり改善していくとか配慮をしていくべきことはあると思いますので、このことも含めて考えていかなければならないと思っています。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） この問題は、2005年、平成17年からこの就学援助認定に際して、民生委員からの助言は必要としなくなったんです。就学援助法施行令の民生委員の助言を求めることができるという文言が削除されたんです。ですから、我が町でもやっていなかったと思うんです。それが何で今ごろこんなことに復活してきたのかなと、即刻やめるべきです。なぜ削除されたかということ、民生委員が人権侵害をしているという告発があったからです、こういう調査の中身が。ですから、こんな本当に基本的なことです、就学援助を受けたいという人がどういう対象であるかということ、あるいは子供たちにそれがどういう影響を与えるかということ想像していただければ、こんな官僚的な対応、そして、わざわざなくしたことまで復活させるなどということは、どういうことかなと。本当に人権の町にふさわしい対応ではありませんよ。即座に改善してもらいたいと思います。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 経緯を確認の上、見直しを図ります。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） あわせて申込期限が、小学校新1年生は令和2年1月17日まで、それ以外は令和2年2月3日から2月28日までというふうに限定されています。多くの市町は、年間通じていつでもお申し込みくださいというふうにしていますよ。何でこんな短い期間に限定するのか。本当に皆さんにこの制度を活用してくださいという姿勢があるのかと。むしろできるだけ利用させないようにしようという意図



を感じますよ、私は。本当に即座に改善してもらいたいと思います。人権教育のあり方も検討してください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 議員のおっしゃるとおりだと思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 次に、浜坂認定こども園について質問をいたします。

私は、浜坂認定こども園の改築は、安全第一であるべき、一貫して移転改築すべきと議論をしまっていました。しかし、町長は、選挙の公約だと第1期検討委員会の報告等を白紙に、ゼロベースで見直すとされ、第2期検討委員会を立ち上げられました。現在地改築だと今日まで2年間を費やされ、早急に改築を求める住民に一番背を向けているのは、町長御自身ではないですか。町長はその自覚を持たれているでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 私は、住民に最も向き合っているということを言いたいと思います、全く逆であります。安全性というのは水につかる1点のみをもって、安全性という、そういった考え方、そこの考え方は大きく違っているということを言いたいと思います。安全性にはいろんな安全性があるということでもあります。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 多数の議員と町長の考え方の違いというのは、津波被害が影響なくなったと。しかし、洪水浸水想定区域、きのうも議論がありました、認定こども園の位置で1メートルから2メートルの中に入っていると。その問題についてはクリアされていないわけです。したがって、改築するなら浸水想定区域外にすべきだというごく普通の議論であります。第1期検討委員会の考え方に近い考え方といってもいいと考えます。極めて自然の考え方であります。

しかし、町長は、第1期検討委員会の答申を受けて、すこやか広場での改築設計予算の議決、団体意思の決定を覆し、その後今日まで2度も土地鑑定料削除の修正案が可決されているわけであり、3度にわたる団体意思の決定を無視しようとする態度は、議会制民主主義を否定する、議会制民主主義に対する挑戦ではないかと考えますが、どのように受けとめられますか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 安全性の認識ですけど、毎日水につかっているという、そういう認識なら安全性の確保はできていないかもわかりません。しかし、そうではないということを認識をしていただきたいと思います。

それから、団体意思、議会の決議、これは非常に重要であります。当初のすこやか広場から変えると、再検討するという背景には、当時の浜坂自治連合会からの反対、それから町内、宇都野町などの反対、さらには体育協会からの反対、こういったこれも団体意思であります。

議会の最終議決が要るとはいえ、やはりどこに民意の重さを置くか、こういった判断を考えれば、私は当然の見直しあってしかるべき、そのように思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 洪水浸水想定区域とはどういうものでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 毎日つかるというものでなく、大雨や大洪水、台風などが起きた場合、浸水する可能性があるということでありませぬ。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 町長は災害対策基本法あるいは水防法をお読みになっているのでしょうか。その中からどのようにこの洪水浸水想定区域が指定されているかということの説明をいただきたいと思ひます。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 土砂災害危険区域というのもそうなんですけど、新温泉には大半が、多くの地域がそういった地域、それから浸水地域というものはあるわけです。だからといって、そこに生活してはならないという、そういうことにはなっていません。現に、実際生活があるわけです、現実があるわけです。その現実をやはり直視して、新たなあり方を考えるというのが行政であると思ひます。

制度があるから、制度のとおりやれという、そういう考えをお持ちかと思ひますけど、私は現実とそういった折り合いをつけるというのも、非常に大事だと思ひます。

○議長（中井 勝君） 答弁になってませぬけど、もう一度質問をお願いします。

14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 答弁が返ってきませぬので、私のほうで少し申し上げたいと思ひます。

災害対策基本法の第1条では、国土並びに国民の生命、身体及び財産を災害から保護するために、防災に関し基本理念を定め、国、地方公共団体及びその他の公共機関を通じて必要な体制を確立し、責任の所在を明確にするとともに、防災計画の作成、災害予防、災害応急対策、災害復旧及び防災に関する財政金融措置その他必要な災害対策の基本を定めることにより、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図り、もって社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資することを目的とすると定めています。そして、第5条で市町村地域防災計画、市町村の地域につき当該市町村の市町村防災会議または市町村長が作成をするというふうにしてあります。そして水防法で、この法律は、洪水、雨水出水、津波または高潮に際し、水災を警戒し、防御し及びこれによる被害を軽減し、もって公共の安全を保持することを目的とするとしてあります。そして、その第14条で洪水浸水想定区域として、都道府県知事は第11条第1項または第13条第2項の規定により指定した河川について、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、または浸水を防

止することにより、水災による被害の軽減を図るため、国土交通省令で定めるところにより、想定最大規模降雨、想定し得る最大規模の降雨であって国土交通大臣が定める基準に該当するものをいう、により当該河川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域と指定するというふうに法定しているわけです。

これを自分の都合で便利に解釈していいというものではないということです。したがって、多くの議員の皆さんがこの浸水想定区域内に新たな公共施設、しかもそれは乳幼児を預かる、みずから避難することもできない、そういう人を預かる施設をつくることは、本当にこの法定された責務に反することだと私は理解しますが、町長はどう考えられるんですか。

○議長（中井 勝君） ちょっとお待ちください。

傍聴席、携帯電話は使わないようにしてくださいね。退場してもらいますよ。

西村町長。

○町長（西村 銀三君） 制度を遵守するというのは当然であります。そういったことが起こらないような防災体制、そういったものをきっちりと組んだ中で、新たな施設を設置すると。

かつて、加藤文太郎図書館にしても、つくられているという経過はあるわけですね。そういったところはなぜそうなったのか。そこはやはり谷口議員も当時議員されていたということも聞いております。そういった経過も踏まえた上で、あえてここはだめということとは言えないのではないか、そのように思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 加藤文太郎図書館建設当時に、こういう考え方は確立されていなかったんです。我が町が初めてこの浸水想定区域をハザードマップにあらわして、全戸配布したのが、平成22年であります。ですから、そういう危険性ということを議論をするという想定がなかったんです。その点は誤解されないようにしていただきたい。

次にお尋ねをします。1,000年に1度、50年から100年に1度の想定から、1,000年に1度の想定に、この浸水想定区域が見直されている。我が町を流れる岸田川については、ことしの出水期までに公表するというふうに県が示していますが、その点はどのように把握をされていますか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） お答えします。これまでの洪水浸水想定は、過去の降雨量そして浸水実績をもとに、おおむね100年に1回程度起こる大雨により氾濫した場合が想定されており、100分の1想定とされています。近年の全国各地での水害などが発生していることや、地球温暖化に伴う気候変動が懸念されることから、100分の1想定と並行しておおむね1,000年に1回程度起こる大雨での氾濫を想定し、県が県内の河川の1000分の1想定を進めているというのが現状であります。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 1,000年に1度の確率というのは1000分の1降雨で、毎年の発生確率は小さいけれど、規模の大きな降雨であることを示している。さらに、例えばさいころを6回振れば、1が複数回連続して出る場合もあります。同じことで1,000年の間にその規模を超える降雨が複数回発生することもありますというふうに、県はホームページで掲載していますよね。ですから、本当にきのうも議論がありましたように、災害が激甚化している、地球規模で温暖化の影響があらわれていると。こういう時期に、浸水想定区域内に、乳幼児を預かる公共施設を建設することが本当に妥当なのかと。せっかく建てかえるなら浸水想定区域外に建設すべきだという議論というのは、至極普通の当然な議論ではないでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 確かに理想としては、議員がおっしゃるとおりだと思います。そうすると、1,000年に1度となると、浜坂中が水没する可能性もあるわけです。そうすると、今の浜坂中学校ぐらいまでしか候補地はない。そういうことになると、本当に水害、1,000年に1度の不安感だけをもって、まちづくりをするのか、今ある現状の中で進めて、なおかつ避難防災体制をきっちりと確立する中で対応するのか。自然には勝てないというのが昨今の現実です。自然に刃向かうというよりは、自然の災害に対してどう対応するか、いざというときどう対応するか、それは人が介在して人が人を助ける、また人を育む環境もやはり人と人とのつながりが深い、そういった環境、いろんな配慮が必要だと思っております。何度も言うんですけど、安全性っていうのはいろんな視点の安全性があるということをお理解をしてほしいと思います。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 副町長や町民安全課長は今の町長のむちゃくちゃな解釈を容認されるんですか。今の町長の答弁でよろしいですか。

○議長（中井 勝君） じゃあ、田中副町長。

○副町長（田中 孝幸君） まだ1,000年に1回の浸水想定は出ておりませんので、というふうになるかわかりません。ただ、町長おっしゃっておられることは、100%の安全な地域っていうのはなかなか見つけにくいんですねと、水害だけではなくて土砂災害ということも当然あるわけですから、いろんな形で災害の対応できる場所を、極力探した上で、また災害対応だけではなくて、いろんな形で、そのこども園のあり方も含めて一番適切な場所をやはり選定していくべきだろうなど。そういった意味で、日ごろの活動の場であるとか使い方であるとかということも、当然に考えていくべきであろうなということの日ごろ考えておられますので、そういった面で、災害対応だけで当然考えるべきものではないと。災害対応については、避難をするということも含めて、安全を確保するということが検討すべきではないかということが常々議論しておりますので、そういった意味での御答弁をされていると理解しております。

○議長（中井 勝君） 西村町民安全課長。

○町民安全課長（西村 徹君） 水防法の規定によりまして、今年度、出水期までに土木事務所のほうでレベルワンというのが50年に1回程度起こる。レベルツーというのが想定し得る最大規模の降雨確率ということで、こういった公表が5月、出水期までにされるということでございます。近年の水防法の改正というのは、やはり早目の避難を念頭に浸水想定というのも厳しくなっている状況があるわけでございます。いずれにいたしましても、誰ひとり取り残さない、みんなが助かる地域防災、この誰ひとり取り残さないというのは一昨日のSDGsにも該当する、こういった考え方で地域防災を考えているというところでございます。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 大変上手にフォローされます。感心します。しかし、私は一度も100%安全なところへ移しましょうなどとは言っていません。浸水想定区域内ではだめですよ。そうでないところへ移しましょうということを言っているにすぎないわけです。

次に、新温泉風力発電事業についてお尋ねをしたいと思います。

昨年、風況調査を新たな機器を設置して再調査をしているとの報告がありました。その後の事業者の動きはないと昨日も議論がされております。兵庫県は環境の保全と創造に関する条例の施行規則を改正され、3月21日に施行をされました。全国に先駆けた厳しい基準であります。しかし、事業者は経産省に事業申請をして受け付けられた段階では、この条例はなかったと、だから、適用外だと主張する可能性があるとは私は受けとめています。争いになりはしないか見解を伺いたいと思います。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） きのうの副町長の答弁でもあったと思うんですけど、この法律っていいですか、県の条例は適用されると考えております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 条例は法律には勝てないんですね。だから、私は、もし会社側が、事業者側が争おうと思えば争えるものではないかと思っています。

次に、国において、再生可能エネルギー事業の促進のための新たな法案が閣議決定されたと聞いていますけれども、この内容について把握されているでしょうか。把握されておりましたら、説明をいただきたいと思います。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 今の御質問、FIT法ということで……（発言する者あり）FITのほうですね。担当課長がお答えします。

○議長（中井 勝君） 岩垣企画課長。

○企画課長（岩垣 廣一君） 今の御質問でございます。経済産業省のホームページでも紹介をされております。強靱かつ持続可能な電気供給体制の確立を図るための電気事業

法等の一部を改正する法律案というのが閣議決定をされております。これをもとに、これから次の国会で法案が審議されると聞いております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） どういう内容であるかは把握されておりますか、もし概要がわかれば教えていただきたいと思います。

○議長（中井 勝君） 岩垣企画課長。

○企画課長（岩垣 廣一君） 細かいことまではわかりませんが、内容的に、一つは今までの法律から、さらに民間事業者がもっと活動ができやすいようなことを目指している。要は、国の補助金以外に、さらにプラスした民間活力を進める、そのような政策を盛り込むということを考えているように考えております。以上でございます。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 結局私たちが環境への大きな影響があるとか、あるいは人体に対する健康被害があるとかということをもさまざま指摘をしても、結局国際的に見れば、日本の再生可能エネルギーの普及率が極めて低いということから、経産省などはいかに加速をするかということのために、今、課長が説明されたような推進施策を進めていくということだと思います。ですから、イヌワシがいたとか、あるいは風況がおもわしくないとさまざまな厳しい条件があったとしても、さらに国の支援が受けられるということになればなるほど、大手こそ生き残っていくという法体系になっていくのではないかなと予測をします。したがって、イヌワシがいたからもう難しいだろう、県条例が厳しくなったから難しいだろうというふうに安心するのではなくて、事業者自身が撤退を表明するまで、やはりしっかりこの地域では受け入れられませんという対応をしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 油断することなくこの風力発電にはノーと言って、言い続けて撤退を求めていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 14番、谷口功君。

○議員（14番 谷口 功君） 終わります。

○議長（中井 勝君） これで谷口功君の質問を終わります。

○議長（中井 勝君） 暫時休憩します。25分まで。

午前11時10分休憩

午前11時25分再開

○議長（中井 勝君） 休憩を閉じ、会議を再開します。

次に、7番、太田昭宏君の質問を許可します。

7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 議長より発言の許可を得ましたので、一般質問を始めます。

最後の一般質問なんですが、質問項目の多くは既に同僚議員の質問にあります。できるだけダブらないように質問をしたいと思います。

それでは、質問を始めます。

まず、働き方改革についてお尋ねします。働き方改革は、働く人がそれぞれの事情に応じて多様な働き方が選択できる社会の実現を目指すものです。改革を推進するために働き方改革関連法案が順次施行されています。時間外労働の上限規制、年次有給休暇の確実な取得、待遇の不合理な差の禁止など、働く人の一人一人がよりよい未来の展望を持てるようにということを目指しています。町の職員の働き方改革の取り組みについてどのようになっているかお尋ねします。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） お答えします。昨今、国も率先して働き方改革に力を入れています。制度も4月からは大きく、公務員制度も変わってまいります。当町における働き方改革の取り組みについてであります。まず、残業についてであります。時間外勤務命令の状況は毎月確認を行っており、人事異動、災害復旧など時間外勤務となりやすい場合もありますが、恒常的に時間外勤務を行っている事例などがあれば、その原因をきっちりと把握し、所属長に職場内の調整を促すなど負担軽減に努めております。このほか、時間外勤務に関する全体的な取り組みとして、現時点、意識改革等の啓発にとどまっております。実効性のある取り組みをしてまいりたいと思っております。

また、年休について、年休も働き方改革の一環であり、積極的な取得を進めております。

育児休業につきましては、令和2年3月時点、取得者は6人という状況で、適正に育児休業をとっていただくよう、これも積極的に働きかけをいたしております。以上のような状況であります。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 時間外労働、いわゆる残業については、その原因を対応し、十分に組み立てるといふ御答弁でしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 一部時間外がある場合、適切な指導を行っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 私が以前現職で勤めていたころは、山の上にある学校は9時、10時になっても電気がついてるような状況でした。今の言葉で言えば、いわゆるブラック企業に当たります。それが、やはり働くことは大切なんですが、過重になるような働き方っていうのは、やっぱり体にもよくない、精神的にもよくないという気がします。今、町職員の方が、上限規制を踏まえながらの働き方ができてるといふのは大

変いと思います。

もう一つ、年次休暇ですが、毎年5日、時期を指定してとるということがあります、それはどうでしょう。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 年次休暇であります。正規職員におきましては、8日と5時間、それから、臨時職員におきましては、これは平均の取得日数であります。訂正します。平成30年1月1日から12月31日、取得した実績であるんですけど、8日と5時間、正規職員については。それから、臨職につきましては平成30年4月1日から31年3月31日まで10日間という実績があります。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） それでは、育児休暇についてお伺いします。町長は、男性職員の育児休暇についてはどのようにお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 国では小泉大臣が育児休暇をとったという報道もあります。基本的には、積極的にとるべきだと考えております。そういう方向で、思いとしてあります。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） それでは、全国の男性の育児休暇の取得率というのはどれぐらいだと思われませんか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 調べておりませんので、確認して、またお返事をいたします。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 平成29年の総務省の調査では、男性の育児休暇の取得率というのは5.14%だそうです。地方公共団体では4.4%、ちなみに、兵庫県の市町村の平均が5.3%とされています。本町でこの育児休暇というような実態はあるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 担当課長に答えさせます。

○議長（中井 勝君） 井上総務課長。

○総務課長（井上 弘君） 男性職員の育児休業の取得者はございません。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 男性職員の育児休暇をとりやすくするためには、まずトップの姿勢が大事だと言われています。また、職場の雰囲気も大事だと言われています。町長御自身どのように思われますか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 担当課長ではかなりお子さんもいらっしゃると思います。現状



はどのような状況か確認しながら、育児休暇はとりやすい環境をつくっていきたいと思います。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） もう一つ質問して申しわけないんですが、6歳未満の子供を持つ共稼ぎの世帯の男性で、家事を手伝っている人は何割ぐらいおられると思いますか、また、育児を行っている男性は何割ぐらいいると思われませんか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） つかんでおりません。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 資料によりますと、実に2割と3割だそうです。つまり、8割の男性は家事を手伝わず、7割の男性は育児を行っていない。いかに女性に任せきりになっているか、女性の負担が大きいかっていうことを示しています。家事や育児を男性が積極的に手伝えれば、女性の負担は軽減されます。女性が輝き子育てが楽しい町になると思います。ぜひ育児休暇がとりやすいように町長の姿勢を強く示し、町職員の皆様が率先してとれるような環境をつくっていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 当然女性活躍社会とはいえ、男性も家庭で頑張る、こういうことが理想だと思っております。女性の地位向上という、そういう世界的な流れの中で、我が町は、我が日本という国は女性の活躍がまだまだという、そういう状況もあります。家事から育児から少しでも手が離れれば、もっともっというんな場所で女性の活躍ができると思っておりますし、御意見を参考にしたいと思います。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 先ほど年休の取得状況をお尋ねしました。町長は男の産休という言葉をお存じでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） はい、テレビなどで聞いたことはあります。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 配偶者の出産休暇が2日、育児参加のための休暇が5日あります。この休暇がぜひ100%とれるように取り組んでいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） それぞれの職員が持っている仕事の見直しが当然必要だと思います。それぞれの職場でカバーし合って産休がとれるような理想的な職場づくりを図っていききたい、そのように思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 男性が育児休暇をとることは、その後の仕事にかなりメリットがあると言われていてます。考え方の幅が広がり、あるいは愛情が深まりというようなことが見られ、その後の仕事の効率も随分向上すると言われていてます。ただ、給料等の問題も発生しますし、今、町長がおっしゃったようにできるだけ環境を整えていたいただきたいと思ひます。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 貴重な御意見だと思ひておひますし、現場のそういった仕事環境の見直しが当然必要になってくると思ひます。今後論議をしていきたいと思ひます。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 次の質問に入ります。

町の活性化を目指すさまざまな施策が取り組まれて行われていてますが、まず、起業家支援や空き家対策の現状、実態はどのようになっているのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 現在、元気なまちづくり、町の活性化のため中小企業への支援、移住、定住の促進に取り組んでおひます。

まず、起業家支援についてであります。起業支援アドバイザーを配置し、週1回サンシーホール浜坂で創業段階に必要な基礎知識、経営等に関する相談を受け付けておひます。また、商工会が実施する創業、経営革新セミナーに補助を行い、経営全般などの講座開設に協力をいたしておひます。また、町内で起業される方々に起業支援補助金制度を創設して、事務所開設費などを対象に補助率2分の1、限度額で50万円ありますが、そういった制度を行っておひます。また、空き家対策のほうでは、新温泉町空き家バンクを運営しておひ、空き家の所有者、それから、利用希望者との橋渡しを行っておひます。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 私の住む地域も空き家が目立ちますが、この空き家バンクへの登録というのはどのように行われるのか、また、このバンクを通し、貸す人、借りる人、あるいは家屋の売買も仲介されるのか、そのシステムについて教えてください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 商工観光課長、担当課長よりお答えをいたします。

○議長（中井 勝君） 水田商工観光課長。

○商工観光課長（水田 賢治君） 空き家バンクのまず登録でございますが、空き家バンクに希望される方に登録申請書を出していただきます。審査の上、登録が決定しましたらホームページ上に掲載をして、御紹介をさせていただきます。今度は、希望者がいらっしゃる場合、希望者の内容を確認をしながらマッチングをして、売買であったりとか賃貸である、もとの所有者の希望に合わせて実施をしていきます。それで、両方の合意が得られましたら、契約上の進めという形になります。以上です。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 家屋の売買も仲介されるということですかね。

もう一点、田舎暮らし体験というのがありますが、体験住宅というのものもあるわけですが、ここに登録した空き家を使って田舎暮らし体験、宿泊等もできるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 水田商工観光課長。

○商工観光課長（水田 賢治君） 田舎暮らし体験住宅は今当町で1棟ございます。湯区にございます。これは希望申請書を出していただきまして、月単位、最高3カ月で御利用をいただいております。以上です。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 次の質問に入ります。地域おこし協力隊の活動についてですが、これも同僚議員の質問にありましたので、一つだけお尋ねします。この地域おこし協力隊の活動がなかなか見えてこない部分があります。以前にも言いましたが、例えば議会が始まる前に隊員の方を紹介していただくことができないだろうか、そうすれば顔もわかり、応援もしやすくなり、定住の支援もできると思いますが、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） これまで委員会などで紹介したということ覚えております。また、顔が見えないということで、先日も香美町の協力隊員さんが報告会などをやっていたということもあります。当町でも報告会などをやって、地域おこし協力隊員の現状、課題、そして将来の方向性、そういったものを報告する場を持ちたいなということを思っております。この3月いっぱいでも1名は退職される予定になっておりますけど、そういった意味でも、当町に来ていただいたその成果をぜひ発表する場をつくりたいな、そんなふうに思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） ここでの紹介のほかにも、やはり町民に対して活動の報告という場が持てれば、また町民の方々の支援もたくさんあると思います。いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 先ほど1名と言いましたが、2名卒業する予定になっております。

町民というか、多目的ホールなどで本当は発表会したらいいなと思っておりますので、そういう方向性も考えていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 次の質問に入ります。

給食費についてお尋ねします。小・中学校の給食費ですが、限られた給食費の中でかなり工夫されて大変だと思います。しかも、消費税の増税、あるいはコロナウイルスの

影響等々で、非常に工夫するのももう本当に限界というか大変な状況だと思います。こども園に関して、給食費の無償ということが言われましたが、この小・中学校の児童生徒の給食費に対して何らかの手だてというのはお考えではないでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 当町の給食ってというのは本当に特色あることをしていると思います。海と山の幸を活用して、成長期の児童生徒の豊かな心と健やかな体づくりに本当に貢献というか、大切な給食だと思っております。その中で、安心安全な給食を提供できるように努めているんですが、増税後なんですけれども、食材は軽減税率の対象であったというようなことで、食材の税率に変更はありません。それに伴って原価が値上がりした食材もありますので、増税後においては、学校給食の質が保たれるように賄い材料費の1食当たりの単価をふやして、献立に反映をさせていっています。保護者の方に負担増にならないように、増額分については、町費の負担とするように考えているところ です。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 食費とその内容の関係は非常に難しいと思います。限られた食費の中でさまざまな工夫をし、安全安心な給食を提供するというのも大変なことだと思います。その給食費、今集めてる給食費ではなかなか大変な状況というような声も聞きます。ぜひ何らかの方法を考えていただきたいと思います。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 今後そういった、今御意見いただきましたようなことで、やっぱり本当に、限られた食材の中で工夫しながら献立等立ててもらったりとかしてる部分がありますので、検討というか、前向きに検討というかしていきたいなと思っています。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 次に、感染対策についてお尋ねします。マスクの件です。マスクにつきましては備蓄が9,000枚というふうにお伺いしています。マスクが決して予防に大きな効果があるというわけではないです。手洗い、うがいの励行のほうが効果が大きいと言われてます。また、副町長からの説明もありましたが、医療機関、高齢者施設等の職員、あるいはいろんな事態に対応するためにマスクの備蓄が必要というふうに言われました。これも理解できます。

しかし、町内にマスクがないという状況は皆さん御存じだと思いますが、先日、高齢者の方があるお店に行って、マスクがあるかどうか聞かれました。店員の方がマスクがないというふうにお答えしたのですが、その方は歩いてそのお店に来て、ないと言われて、また歩いて帰っていかれました。状況っていうのはよくわかるんですが、せめて、例えば80歳以上の高齢者の御夫婦とか独居の高齢者の方とか、限られた範囲の中でマスクを配付することはどうなんでしょうか。多分今後これ好転していくと思いますが、

今不安に思っている方々のためにそういう手だてというのはいかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 本来、住民の安心安全という観点からはそういう施策が必要だ  
と思うんですけど、現状、当町の把握枚数も極めて数千枚という状況あります。病院や  
ささゆりや、いろんな緊急事態に備える必要もあります。できたら何らかの手段で、で  
きるだけ早くマスクの調達などをしたいなという思いはありますが、国中がないとい  
う状況ですので、今後の検討かなと思います。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 例えば町長が今夜の広報を使って、放送を使って町民の  
皆さんに寄附を呼びかける、1枚、2枚でも寄附をしてくださいとか、あるいは今こそ  
ふるさと新温泉ということで、町外、県外に出ている方々に呼びかけて寄附をしてもら  
う。そういう方法もあると思いますが、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 今回このコロナウイルス、全国的に広がっているという背景が  
あると思います。どの地域でもマスク、それからトイレトペーパーの品不足、ティッ  
シュの品不足などが起きているという状況もあります。試みはやってみてもいいかなと  
思うんですけど、非常に、やってみるとわからんところがあるんですけど、全国津々浦  
々ウイルスが蔓延しよる、そういう状況ですので、難しいのかなと思います。

○議員（7番 太田 昭宏君） 以上で。

○議長（中井 勝君） いいですか。

ここで暫時休憩します。昼食休憩とします。午後は1時から。残りは午後からお願い  
します。

午前11時51分休憩

午後 1時00分再開

○議長（中井 勝君） 昼食休憩を閉じて会議再開します。

引き続き、7番、太田昭宏君の質問をお願いします。

7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） それでは、町施設の充実と活用についてお尋ねします。

町長は地域に根差した生涯学習の拠点として公民館活動の充実を目指すという提案で述べら  
れていましたが、どのような取り組みをされるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） けさもNHKラジオで、エジプトの方が日本の公民館をぜひエ  
ジプトで展開したい、こういうラジオ放送がありました。日本の公民館の制度の役割の  
重要性といいますか、すばらしさを訴えていました。当町でもこの公民館の役割は大変  
大きいものがあると考えております。地域住民が地域の課題などを学び、そして住民み

ずからが解決する、そういった住民自治の形成の場、また、地域住民の趣味やそういった趣向を学び、交流の場としても大きく寄与する、そういった方向性で、現在公民館活動のない地域もあるわけではありますが、充実を図っていききたい、そのように考えております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） それでは、もう少し具体的にお尋ねします。公民館が開催する講座というのはたくさんありますが、魅力ある講座を開設するために公民館だけでは人材確保等の問題もあります。そういう人材確保等について、町の支援というのをお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 現在、公民館の館長には一定の報酬っていいですか、費用弁償っていいですか、お支払いをさせていただいております。そういった中で、地域独自の取り組みが図られている、地域独自の講師、それからいろんなイベント、勉強会、そういったものを通して、それぞれで頑張っているというのが実態だと思います。特別、別途そういう講師、特別な講師であるとか、そういった個別の案件については、その都度対応っていいですか、話し合いの中で検討を図っていききたい、そのように思います。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 地域の拠点として、施設、設備の整理も必要だと思います。例えば視聴覚機器の充実、あるいはインターネットの環境等の整備、これらについてはどのようにお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 太田議員からは以前から地区公民館活動にパソコンを使った場合、インターネット環境をきっちりと整備してほしい、こういった要望も出されていたと思います。地域の情報基盤も生活基盤の大事な部分、もう情報なしではなかなか生きていけない、そういう背景もあると思いますので、充実を図る方向でやっていきたいと思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） インターネット環境の整備というのは、来年度からですか、小学校でもプログラミング教育というのが導入されます。振り返ってみれば、私たちがコンピューターに触れたころ、あるいは携帯からスマホに変わっていったころを考えると、やはり大人も情報処理能力というのを高めないといけない。このままでは、子供たちはさまざまな教育機器、コンピューターを使えるのに、町の大人が全然そういうことに携わることができないと、子供と大人の断絶がこのままでは生まれていってしまうのではないかと。当然大人も情報教育に対する処理能力を高めないといけない。そういう環境整備というのはぜひその公民館で、インターネット環境、あるいは教育機器の整備というのも非常に重要なので、進めていただきたい、強く進めていただきたいと思

いますが、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 最近はパソコンのかわりにスマホがパソコンと同じような機能も持ちつつあります。そういった意味で、高齢者もスマホを持って孫と交信したり、そういう時代になっております。かなり高齢、70、80歳になってもスマホを使える方は見ているとどんどんふえているように思っております。図書館でも定期的にプログラミング教室を開催するような動きもできておりますので、一般住民の方々にもそういった環境ができるように少しでも前向きに取り組みたいです。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 先ほど町長の答弁にもありますように、もう一つ人が集まる拠点として課題解決の拠点として公民館を活用すると。やはりこう人が集まれば情報が集まります。課題になっている子育て、婚活、あるいは地域活動など、解決を図っていくその拠点として公民館は非常に重要な役割を持つと思います。さらに町長のお考えをお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 人が集うというところにいろんな話題性が出てくると思います。そういった意味でも、人が集う公民館、こういった公民館活動の充実、それから、基本的にはやっぱりそれをリードする人、指導者なり取りまとめていけるようなそういった人材も必要かと思えます。現在、奥八田地域でそういった集落支援のあり方を検討いたしております。地域おこし協力隊員、こういった方々もうまく、何ていいますか、動いていただいて、公民館活動など支援できるような仕組みをつくっていききたい、そのように考えております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 私も以前、地域おこし協力隊員の協力を得て、公民館活動をさらに推進してはどうかという提案もさせていただきました。ぜひその取り組みを進めていただきたいと思います。

次の質問に入ります。駅構内の図書館コーナーの設置事業というのがありましたが、具体的にはどのようなことをされるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 駅構内の図書コーナーのことです。本町には加藤文太郎記念図書館という県下でもすばらしい、西日本でもすばらしい図書館があります。こういった図書館をもっともっと知っていただくと同時に、利用していただく。子供たちの、やはりいろんな本に親しむ、現在、スマホでいろんな本が読めるんですけど、やはり本に親しんでいろんなことを学んでほしい。そういうスタンスで、駅の中、構内に設置を考えております。もちろん駅前の活性化、これにも大きく寄与できる。そういう観点で駅のコーナーを開設したい、そういう思いであります。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 地域の方々に本に親しむ機会を提供するというのは非常に大事なことだと思います。具体的な活動については、これから検討される部分もあると思いますが、その本の確保、どういう本をそのコーナーに設置するのか教えてください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 基本的には無人といいますか、不特定多数の方が出入りされます。盗難であるとかいろんな心配もあると思います。まず、本は一般の町民の方々を中心に寄附をしていただいたような本、こういったものをお願いしたいなと思っております。盗難、万が一盗難があってはならないわけですけど、盗難されても仕方がないといえますか、できるだけ盗難されないような対応も考えるわけですけど、盗難されてもいようなというか、一方でそういう利用者が本当にいいなと喜んでいただけるような、そういう本のコーナーにしたい、そのようにしております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 私も地域活性化委員会の中で諸寄の駅舎にこういう図書コーナーをつくってはどうかということを提案しています。今、町長がおっしゃったように、地域の方々から寄附をいただいて図書コーナーをつくるという。この浜坂駅だけではなくて、町長が今おっしゃったような趣旨を踏まえるならば、例えば諸寄とか居組とか、あるいは、もう少し何か人の集まるような場所にこの図書コーナーを設置していくというようなお考えは、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） いい考え方だと思います。とりあえず、まず、浜坂駅でやってみて、その後の状況を見ながら検討したいと思います。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） それでは、次の質問に入ります。誰もが夢を持って語れる教育についてということで質問いたします。

まず最初に、改正児童虐待防止法についてお尋ねします。親がしつけを理由として体罰をエスカレートする。また、しつけの一環だとして虐待を正当化する、このような児童虐待が大きな社会問題になっています。被害者である子供たちの権利を守るために改正児童虐待防止法が成立しました。この法律は、親などの親権者がしつけだからといって子供に体罰を加えることを禁止するものです。4月から実施されますが、このことについて町長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 昨今、テレビを見ましてもいろんな子供たちに対する虐待、体罰、そういったものが頻繁にテレビに出ております。この子供の人権条例も日本という国は世界的に見ても非常に取り組みが遅かったという、そういう経緯があります。子供



たち、子供たちのみならず女性、そして障がい者、そういった者に対するきちっとしたそういう権利が確立されて、こういう暴力行為などが起きないような、体罰が起きないような、そういうことを願っておりますし、こういった法改正によってさらに禁止されるべきあり方が厳しくなっているということで、流れとしてはいい方向に動いているな、そのように考えております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） この法律の趣旨等を広く保護者や地域の方々に理解していただくことは非常に大切なことだと思います。どのような対策をもって趣旨の徹底、理解に努めていかれるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） これは一般的に親による体罰、それから子供同士による暴力行為、それから学校内におけるいろんな暴力行為、こういったものがあるわけですけど、職場職場っていいですか、学校は学校の中で一定の方向性が打ち出されていると思っておりますし、町の条例の中にも規定してあります。そういう方向性、さらには、体罰自体はいけない、暴力はいけないという基本的なところを一人一人が自覚するということが基本にあるというぐあいには思っております。何ていいますか、道徳っていいですか倫理観であるとかそういった人としてあるべき姿、これをやっぱりきっちりと一人一人が持つ、ふだんからそういう意識啓発を、何ていいますか、大人から示していくというのが大事なことでないか、そのように考えます。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 生徒に対する教員の体罰禁止等もあります。ただ親の立場として見れば、例えばこの子は言うことを聞かないと、ちょっと頭をたたくということはあってもいいんじゃないかと思う方もたくさんおられると思いますが、その辺の趣旨の徹底というのは、趣旨の徹底といえますか、啓発、この部分についてはどのように取り組まれるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 基本的には、やっぱり親が見本を示すということで、そういった基本的なあり方を、何ていいますか、行政がどうのこうのという、言えることと言えないこと、事案によって変わってくると思うんですけど、そこは一人一人の持つ、先ほど言った道徳観、倫理観なりをきっちりと大人が示していくということが大事だということを思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） ちなみに本町で児童虐待等の事例はあるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 担当課長がお答えいたします。

○議長（中井 勝君） 中田健康福祉課長。

○健康福祉課長（中田 剛志君） 健康福祉課の要保護児童対策協議会のほうで把握している今年度の件数ですけれども、16件となっております。内訳としましては、身体的が8件、心理的が7件、ネグレクトが1件となっております。以上です。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 先ほど町長がおっしゃったように、やっぱり親の姿勢というのが大事だと思います。ただ、町の取り組みとして、やはり児童虐待の例がありましたように、親を孤立させない、家庭を孤立させない、そういう対応も非常に大事に思われます。そのためには、相談体制の充実ということも必要になってくると思われませんが、子育て支援、そのサポート等についてはどのようにお考えでしょう。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 親御さんを指導するというのは極めて行政の立場では難しい面があると思うんです。具体的な暴力行為があったり、そういったいじめなりがあった、そういったものを受けて、行政が動くことはできると思うんですけど、基本的には児童相談所、それから警察、そういったところが対応しやすいかな、そのように思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 確かに体制を整えていくということは非常に難しい面もあります。ただ、先ほど育児休暇のところで申し上げましたが、例えば男の産休、これを確実に実施することにより、家庭の中で夫婦で会話をする、子育てについて対話をする、あるいは家族で対話をする、地域で対話をする、そういう機運が生まれてくると思います。

改めて、また質問が戻りますが、男の産休といわれる子供のための休暇100%取得について町長のお考えをお聞かせください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 一般の事業所と公務員の働き方とはまた別なところがあると思います。一般の事業所で男性の産休をとるということは、現実的に非常に職場内の環境を判断すると休みにくい環境が多いということを聞いております。そういった中で、現実的に、何ていいますか、公務員さんなどはとりやすいと思うんですけど、いろんな意味で周囲のバックアップ、協力は必要だと思っております。議員のおっしゃる方向性は正しいとは思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 以前に申し上げましたが、この新温泉町が元気になるために、まずこの町の職員の皆様が元気であるということ。それで、町を引っ張っていくというようなこともお話しさせていただきました。ぜひその方向で進めていきたい、進めていただきたいと思っております。

次の質問に入ります。不登校、ひきこもりについてですが、ひきこもりについては実

態等を同僚議員の質問で把握しました。私としては不登校生徒の件につきましてお尋ねしたいと思います。まず、不登校児童生徒についてですが、学校以外で町が設けている相談窓口等でどれぐらいの相談件数があったのか教えてください。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 教育長に答えていただきます。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 現在の不登校の相談件数なんですけれども、子ども相談室への相談件数です。小学校が2件、中学校が4件、6件になっております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） その件数について、本町の不登校児童生徒の実態を踏まえながら、多いと思われませんか、少ないと思われませんか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 相談件数以外にまだ不登校で上がってくる子供たちもいますので、もう少しちょっとふえてきているなという感覚を持っております。そういった思いを持っています。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 実態がそうであれば、その相談件数をふやしていく、その手だてみたいなことは何かお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 子供たちに寄り添うというか、いろいろ学校でもアンケートをとったりとか、カウンセリング、担任が子供と話す機会を持ったりとか、そういったこともしております。それにあわせて、スクールカウンセラー、それからスクールソーシャルワーカー、それから関係課、健康福祉課であったりとかいろんなところとも連携とりながらやっていくというようなことを日々しております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 不登校児童生徒について、子供たちの居場所というのは家庭、学校ほか、町内ではどこか考えられますか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 現在、子供がそういったところに集まってこれるといふか、適応教室っていうような場所がありません。来年度に向けて、今準備という、準備をしていっているところです。何とか子供たちが安心していふか、心のよりどころになるような居場所づくりをちょっと目指して取り組もうと計画しているところです。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 私も不登校の生徒を担当したことがあります。ほかの生徒がいる昼間はなかなか学校には来れませんが、夕方、夜、あるいは休みの日など、ほかの生徒がいないうちは学校に来ることができます。そのときに教室と一緒に入り、

こう授業したり自習をしたりというような対応もしてきました。今、教育長がおっしゃったように適応教室と呼ばれるものがこの町内にはありません。さらに、町が開設する適応教室ばかりではなくて、民間の、例えばNPOとかボランティアの方が開設される居場所づくりということも可能だと思います。先ほど来年度に向けてということがありましたが、具体的な手だて、具体的な方法というのは考えておられるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 現在、週5日開設できれば一番いいんですけれども、そういったことがなかなか難しいところもありますので、曜日を決めて相談室と適応教室がうまく機能していくような形を探っているところです。

それから、議員がおっしゃったように、不登校の子供たちにも本当に学校の現場の先生たちが努力をされ、御家庭の親御さんの協力を得たりとか、本当に子供たちが一歩でも踏み出せるというか、学校の始業時間の中ではなくて、放課後に子供を呼んで対応しているようなケースもありますし、学校に登校したら保健室が居場所になっている子供もいたり、いろんな方法で、何とか不登校生を減らしたいという動きを学校現場のほうでもしてもらっているという現状があるので、ちょっとお伝えしておきます。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 各市町ともさまざまな努力をされていると思います。適応教室を開設するためには、人、施設、お金が必要となります。その辺は大丈夫でしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） そういった財源というか、そういったことについては、また、来年度以降考えていくことになるかなとは思っているんですけれども、何とか場所に、子供たちに、足が運べる場を何とかつくりたいという思いと、今、子ども食堂というようなこともある一方で計画をさせていただいたりしてるところもあります。そういったことも含めて、居場所づくりを何とかしていきたいなと思っているところです。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 一方で、親の要望がそれを望んでるのかどうかというような把握はされているのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 現在のところ、親御さんが、親御さんとか子供自身がそこまで、レベルといったらあれですけど、気持ちの中にエネルギーがたまって、何とか外へ出ていこうというような気持ちになっているお子さんっていうことで、ちょっと調査というか、そういうことにはなってませんが、直接私も保護者の方から御相談受けたこともありますので、何とか場所をつくってほしいというお声も聞いていますので、何人かは来れる場所をやっぱりつくらないといけないという思いで、今、動いていこうと思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 不登校児童生徒の対応を、私が勤めていたころは登校刺激をかけたほうがいいということもあり、無理やり学校に連れてくるという対応もありました。その後、不登校児童生徒というのは、病気ではなく誰にでも起こる状態だと。だから、登校刺激をかけずに見守っていくほうがいいという対応の仕方も出てきました。いずれにしても、間で揺れる子供たちは大変だと思うんですが、例えばその適応教室、あるいはボランティア団体での教室等において、学校の出席日数との関係はどのようなのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 現在適応教室とかに行けば出席ということが認められますし、放課後登校とかにしても出席を認める形をとっておりますので、できると思います。民間の、例えばボランティアというか、そういった団体というかについてはちょっと考えていけないといけない部分もあると思いますが、子供たちが一歩踏み出せるような形を何としてもと思っています。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 今、教育長がお答えになった以外で、出席扱いができるケースというのはどういうものがあるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 途中登校とか今の放課後もそうですし、適応教室、それ以外、フリースクールとか、ここにはないですけども、そういったところに行って学習したら登校が認められるということもあります。それについてはいろいろどこでもということはいかないと思いますけれども、そういったことには整理が要ると思いますが、現在そういうことも認められるようになっております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） さらになる対応の充実を求めていきたいと思います。

次の質問に入ります。5年後の本町の各校の人数について、わかっているならば教えてください。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 5年後、令和6年、合計でしょうか。済みません、令和6年度には総数で132人減少ということで……。ちょっと待ってください、済みません、小学校が504人、中学校が314人になっています、済みません。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 各学校の人数がわかりましたら教えてください。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 温泉小学校から申し上げます。103人で、照来小学校が46人です。浜坂東小学校が37人、浜坂西小学校が59人、南小が57人、浜坂北小が

202人、夢が丘中学校が108人、浜坂中学校が206人という数字になっています。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第4条に適正な学校規模の条件が書かれています。学級数がおおむね12学級から18学級までであるとされています。5年後の各校の児童数、生徒数を先ほど教育長から教えていただきましたが、この適正規模と合わせて町長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 学校教育法で定められた一定の基準があると思います。そういったものを基本に考えていけたらいいなと思います。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） クラスの人数については、一クラスの人数については町長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 先生と子供の関係は1対1がいいとは思わないんですけど、大きいよりは少ないほうがいいと思います。小学校、中学校、この発達段階によっても変わってくると思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 保護者の方はどのように考えられているか、何か把握した資料のようなものはあるのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 保護者のお気持ちというか、そういったことの統計といえますか、意見を集約しているようなところは今現在はございません。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 以前本町では、ごく小規模校の学校では複式がある学校もありますが、少人数のよさを生かした授業を展開しているということを伺いました。ちなみに、来年度実施される小学校の学習指導要領の中に、主体的・対話的で深い学びからの授業改善が求められるということがあります。対話的な学び、例えば意見交換、議論の場、学習形態としてはペア学習やグループ学習が考えられます。そうすると、この学びを推進しようと思えば、当然一クラスの適正な、あるいは必要な人数というのが考えられると思いますが、どのように考えられているのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 対話的な学びということですが、議員のおっしゃったようにペア学習とかグループ学習、そういったものをふやしていくということになります。少ない人数の中でもいろいろ工夫をしていけばできることもあると思います。前にもお伝えしたと思いますが、今現在、遠隔授業というか、そういった授業もやっておりますし、多様な考えに触れさすということもとても大事だと思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 小規模校のメリット、デメリット、これは保護者の方、地域の方に伝えられているのでしょうか。また、学習指導要領の中にこのような主体的・対話的で深い学びからの授業改善等のようなことについては、保護者の方々には伝えられているのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） このことにつきまして、直接各学校園でそういったことで指導要領変わっていきますよ、こういうことを大切にしていきますよということを伝えてくれていると思いますが、教育委員会の中でも、来年度、教育構想の中でしっかりとそういうことを取り入れて、保護者の方にも知っていただくようなこともしていけないとは思っています。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 保護者がこれからの教育を考えていく材料として、資料として、例えばメリット、デメリット、学習指導要領に示されていること、そういうことを保護者の方に確実に知らせ、今後、保護者がどうするか、将来どうするかという判断の材料として提供していくことは非常に大事だと思います。したがって、そのことが確実に地域の方、保護者の方に知らされているかどうかというものの把握は、ぜひ教育委員会のほうでしていただきたいと思います。いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村教育長。

○教育長（西村 松代君） 必要なことだと思いますので、今後考えていきます。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 町長は、今までの質問の答弁に対して、町の将来、教育も含めて、5年後、10年後の状況ってというのはどんどんどんどん変わっていくんだと、だから、その時々判断するのは必要だという答弁をされたと思いますが、確認でもう一度お伺いします。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 時代の流れ、すごくもののあり方、それから技術革新、人の考え方も大きく変わっていきつつあります。そういった中で、やはり時代時代に合った考え方、それは当然必要になると思いますし、将来、10年、20年先を計画性というのは要るんですけど、それは計画性と同時に変化に対応する力、生き残る力っていいですか、一般の事業所でもそうですけど、時代の流れに対応することが結果的に、かつての恐竜時代ではないんですけど、変化にどう対応できるか、そういう柔軟な姿勢が必要だと思っております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 私も町長がおっしゃるとおりだと思います。その時々判断というのは非常に大事だと思います。ただ、その時々判断をするための資料とい

うのは、常に準備しておかないといけないと考えています。例えば小規模校の教育の将来、あるいは小小連携等々について保護者が判断するための資料というのは常に提供し、またその保護者、地域、そういう考え方を常に把握しておく、それがあからこそ時々判断というのができると思います、いかがでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） もうおっしゃるとおりだと思います。町の人口、基本である人口を初めとして、いろんな数値をきっちりと把握して、分析して、そして、行政の仕事として打ち出していく、教育の場で打ち出していく。そういったことは最も必要なことだと思います。議員のおっしゃるとおりだと思います。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） それでは、最後の質問に入ります。これからの新温泉町のさまざまな教育課題、この解消に向けて、誰がどこでどのように話し、どのように実践していくのかということについてお尋ねします。

まず、この新温泉町の認定こども園の今の状態なんですが、町民全員が子供の健やかな成長を願い、こども園の早期完成を望んでいる中で、なぜ候補地をめぐって反対、賛成の状況になったのか、この経過と状況について町長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 将来を担う、町を担う子供たちの育成、成長する、そういった環境をよりよい環境にしたい、そういった点で議論が今日に至っている、そのように考えております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 昨日、池田議員から候補地の一つとして浜坂北小の話がありました。私も町民の方から北小とか浜坂中学校とか大学予定地跡とかということも聞いています。これらの町民の方々が考えておられるような候補地が、どこで議論され、適切、あるいは考えたほうが良いというようなその議論、それがなかなか見えてこないわけですが、その辺の議論というのはどのようにされたのでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） これまでの中でそういった議論は起こってないと思っております。小学校、北小を使って認定こども園をという、そういった議論はこれまでの議論の中で全くないように思っておりますし、議論がないから当然そのことについていい悪い、候補地としてもなかったと、そういう認識であります。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） もう一つお伺いします。保護者アンケートの結果から、6割の方が現在地に賛成というふうに聞いています。この保護者の、さらに詳しい思い、願い、考え方、あるいは地域の方々の思い、願い、考え方、さらに先生方との話し合い、これら、顔を合わせて議論されるようなことが今まで何回ぐらい町としてあったんでし



ようか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 検討委員会というのが一定の住民の意見の集約だと、そのように考えておりますので、御理解をいただきたいと思います。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 私も以前、豊岡の西気小学校と清滝小学校の統合にかかりました。きのうの池田議員のお話にも統合の話が出ていましたし、隣の香住一中、二中の統合、あるいは豊岡の港東小学校、港西小学校の統合、さまざまな問題が出ています。私のかかわったとき、西気には4年間かけて統合に関する議論を重ねました。豊岡市のほうも何回も地域に来て、住民の方、保護者の方、生徒児童とも話をしました。検討委員会がと今、町長がおっしゃいましたが、それはシステムの上ではそのとおりかもしれませんが、例えば思いという部分で保護者も地域も先生ももっともっと話を聞いて、話をさせていただいたらいいと思ってる方もたくさんおられると思いますが、いかがでしょう。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 統合問題と、また話す次元が一緒ではないということはあると思うんです。ですから、統合という地域にとって、小学校がなくなったりするとかそういう問題とは、立地の問題ですから、また次元が全く違うことではないでしょうか。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 次元は違うと思いますが、姿勢については同じだと思います。この手法で工夫がなければ、今、町長がおっしゃったような統合の問題、あるいは病院の問題、この町が抱えるさまざまな課題に対していつも賛成、反対というような形になっていくのではないか。これだけたくさんの方々が生きていて、たくさんの方の知恵を持っているわけですから、何とかいろんな意見をしっかり聞いてまとめていくような手法というのは考えられないでしょうか。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） どういいますか、基本は住民の意見にあると思っております。そういったスタンスで住民懇談会を、今までやっていなかった住民懇談会を毎年するようにさせていただいておるといことで、住民と決して交わってないっていいですか、意見交換の場がないという、そういうスタンスではないと思っておりますし、逆にそういった場をつくっていききたい。そういう場でどんどんいろんな御意見を吸収して、施策に打っていききたい。そういう結果であると考えております。

○議長（中井 勝君） 7番、太田昭宏君。

○議員（7番 太田 昭宏君） 住民の意見を聞くスタンスっていうのが非常に大事だと思いますし、町長の姿勢と私も同じです。ただ、住民の意見を聞く前に、やはり必要な情報、例えば町が知ってる必要な情報、そういうものを住民の方に提供し、そこで考え

ていただき、議論を深めて町の方向を定めいい方向に進むような会議を持っていただきたいということを思い、質問を終わります。

○議長（中井 勝君） 西村町長。

○町長（西村 銀三君） 議員がおっしゃるとおり、住民に十分な情報を提供しつつ、将来の方向性が誤ることがないようにやっていきたい、そのように考えております。

それから、午前中の質問の中で、マスク、トイレットペーパー、ティッシュがない、そういう回答させていただきました。マスクは確かに店頭から消えておるんですけど、入手ができないんですけど、トイレットペーパー、それからティッシュペーパーについてはデマが出回ったというか、そういう関係で店頭から消えつつあるということですけど、現実的には戻りつつ、実際店頭で販売されつつあるということで、発言を訂正したいと思います。

○議長（中井 勝君） これで太田昭宏君の質問を終わります。

暫時休憩します。2時5分まで。

午後1時49分休憩

午後2時05分再開

○議長（中井 勝君） 再開いたします。

○議長（中井 勝君） ただいま休憩中に御協議いたしましたとおり、令和元年度新温泉町一般会計補正予算（第6号）並びに特別会計及び公営企業会計6会計の補正予算につきましては、休憩のままで内容説明を受けることにいたします。

暫時休憩します。

午後2時05分休憩

午後3時11分再開

○議長（中井 勝君） 再開いたします。

以上で、休憩中における令和元年度新温泉町一般会計補正予算（第6号）並びに特別会計及び公営企業会計6会計の補正予算について説明は終わりました。

○議長（中井 勝君） お諮りいたします。本日の会議はこの辺で延会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中井 勝君） 異議なしと認めます。よって、本日はこれをもって延会することに決定しました。

本日はこれで延会します。

次は、3月16日月曜日午前9時から会議を開きますので、議会議事堂にお集まりく

ださい。長時間お疲れさまでした。

午後 3 時 1 2 分 延会

---